

# 「がん経験者の性生活への影響に対するセクシュアリティ支援」 アンケート結果報告

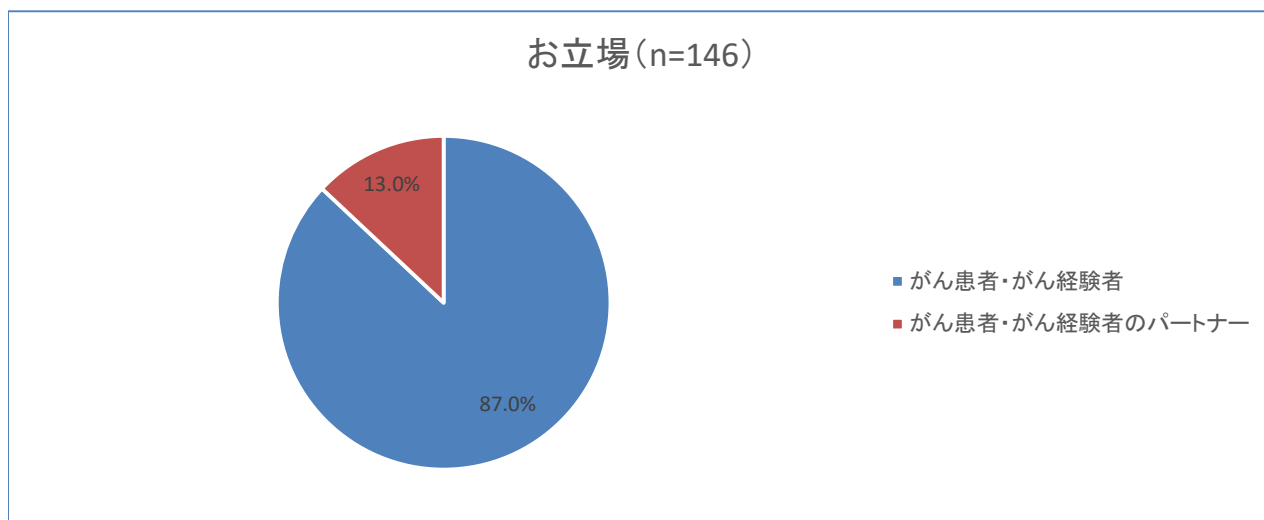
2023年2月

NPO法人キャンサーネットジャパン（以下CNJ）では2020年より日本対がん協会協力による休眠預金活用事業として、がん経験者やそのパートナーの方のセクシュアリティに関する支援をウェブサイトやセミナーでの情報発信、小冊子や啓発動画の制作、チャット形式の無料相談など通じて実施しています。がん経験者さんやそのパートナーの方が安心して性について語り合える社会になることを目標に進めてきましたが、変化を感じられる社会に近づけているのか、みなさんからいただいた貴重な意見をどれくらい反映させることができたのか、セクシュアリティに関する支援の状況を把握することを目的にアンケート調査を行いました。

本アンケート調査はがん経験者およびそのパートナーの方を対象に2022年11月から2022年12月に実施し、146名の方々からご回答いただきました。いただきましたご意見、ご要望等は、重複する内容をまとめたり一部抜粋してご紹介しております。なお、判読が難しいもの、表記が適切でないものも含め、原文のままとさせていただきます。たくさんのご意見ご要望等をいただきましたこと、深

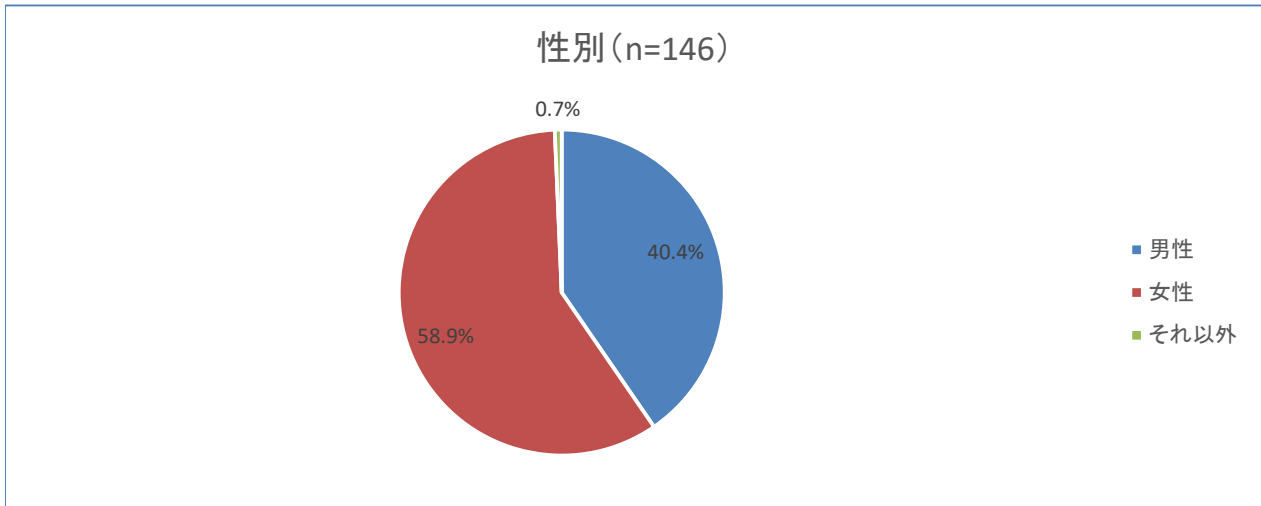
Q1. あなたの立場を教えてください。

	割合	人数
がん患者・がん経験者	87.0%	127
がん患者・がん経験者のパートナー	13.0%	19



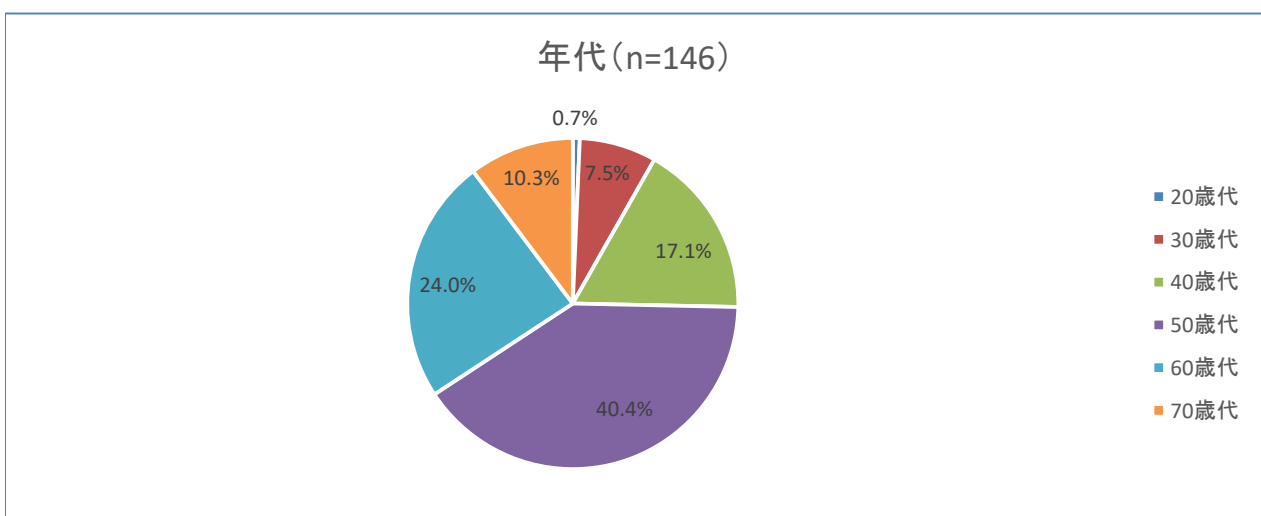
Q2. あなたの性別を教えてください。

	割合	人数
男性	40.4%	59
女性	58.9%	86
それ以外	0.7%	1



Q3. あなたの年齢を教えてください。

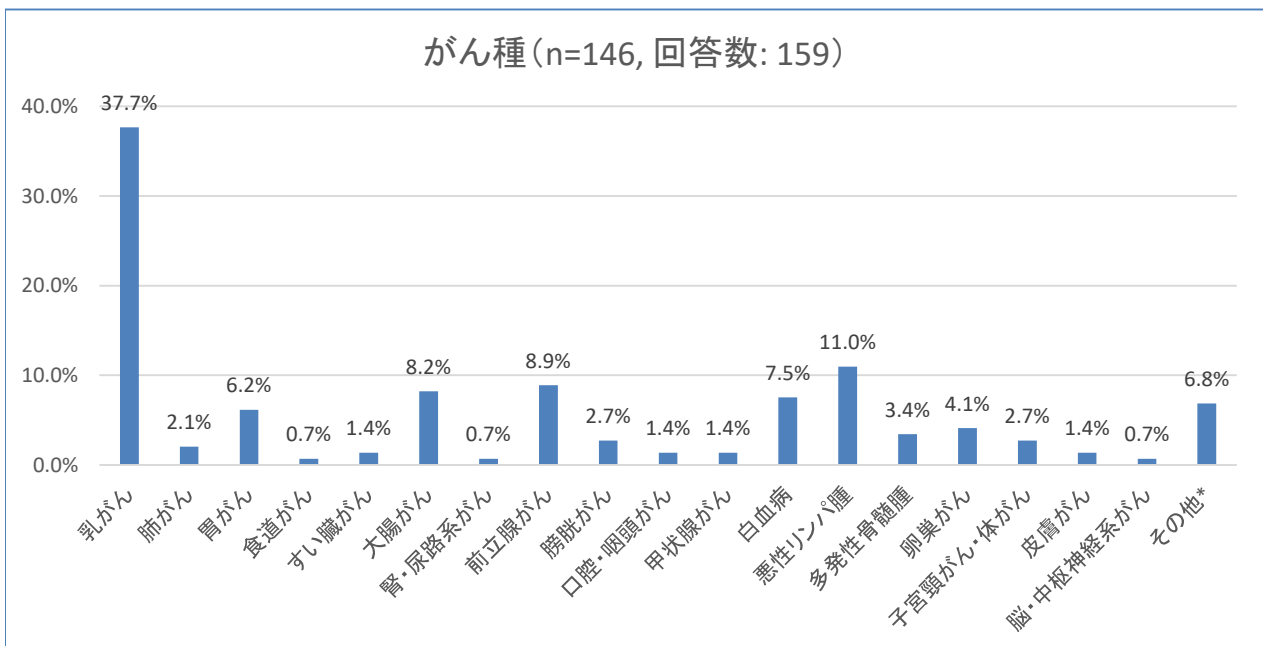
	割合	人数
20歳代	0.7%	1
30歳代	7.5%	11
40歳代	17.1%	25
50歳代	40.4%	59
60歳代	24.0%	35
70歳代	10.3%	15



Q4. あなた、もしくはパートナーのがん種について教えてください。 ※複数回答可のため割合合計は100%を超えます。

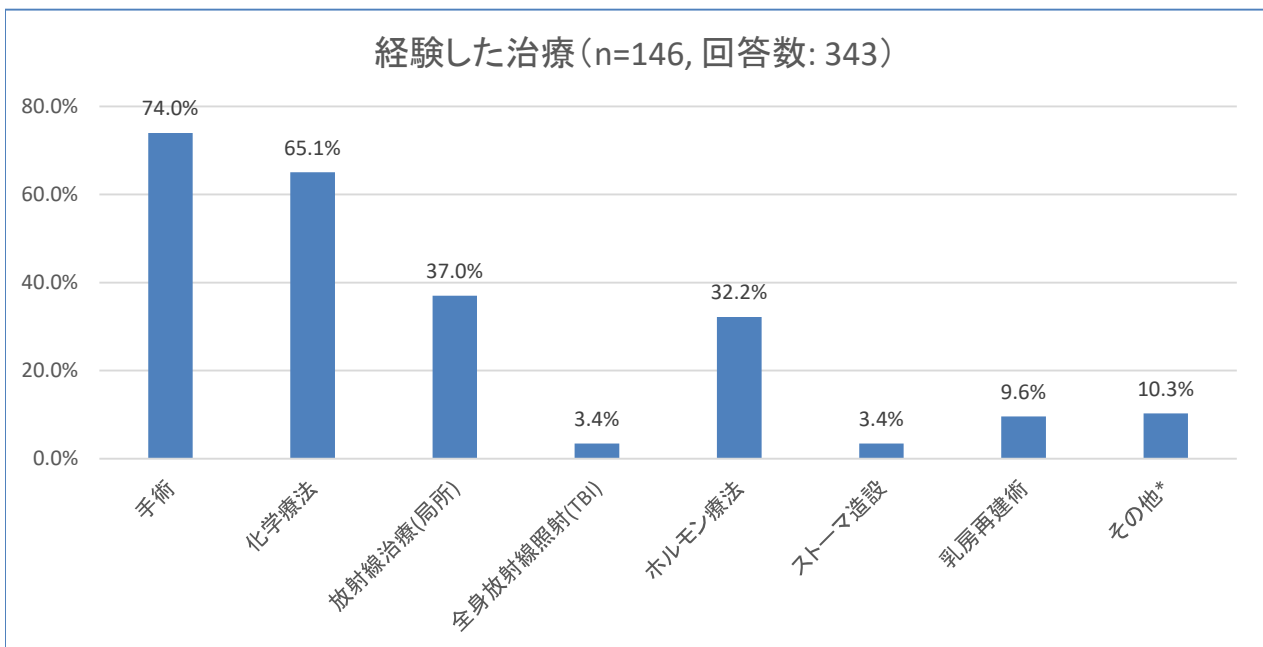
	割合	回答数
乳がん	37.7%	55
肺がん	2.1%	3
胃がん	6.2%	9
食道がん	0.7%	1
すい臓がん	1.4%	2
大腸がん	8.2%	12
腎・尿路系がん	0.7%	1
前立腺がん	8.9%	13
膀胱がん	2.7%	4
口腔・咽頭がん	1.4%	2
甲状腺がん	1.4%	2
白血病	7.5%	11
悪性リンパ腫	11.0%	16
多発性骨髄腫	3.4%	5
卵巣がん	4.1%	6
子宮頸がん・体がん	2.7%	4
皮膚がん	1.4%	2
脳・中枢神経系がん	0.7%	1
その他*	6.8%	10

\*具体的に：胚細胞腫瘍 消化管間質腫瘍(GIST) 骨髄異形成症候群 腎盂癌 胸腺腫  
肛門部悪性黒色腫 肉腫



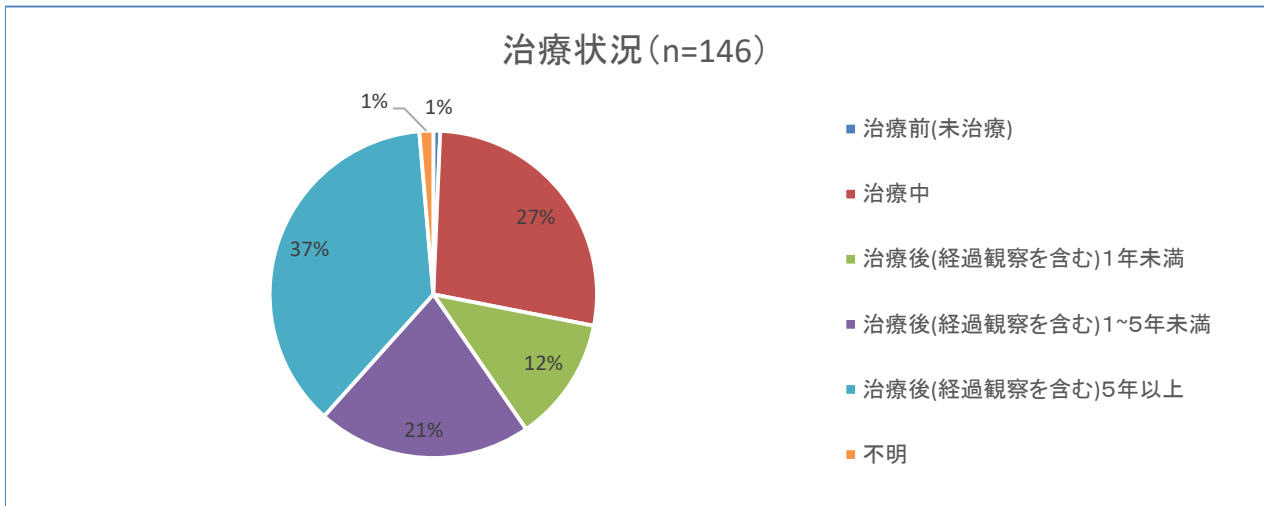
Q5. あなた、もしくはパートナーが経験した治療について分かる範囲で教えてください。 ※複数回答可のため割合合計は100%を超えます。

	割合	回答数
手術	74.0%	108
化学療法	65.1%	95
放射線治療(局所)	37.0%	54
全身放射線照射(TBI)	3.4%	5
ホルモン療法	32.2%	47
ストーマ造設	3.4%	5
乳房再建術	9.6%	14
その他*	10.3%	15
*具体的に：分子標的薬 ラジオ波治療 造血幹細胞移植 BCG注入療法 輸血 リハビリテーション		



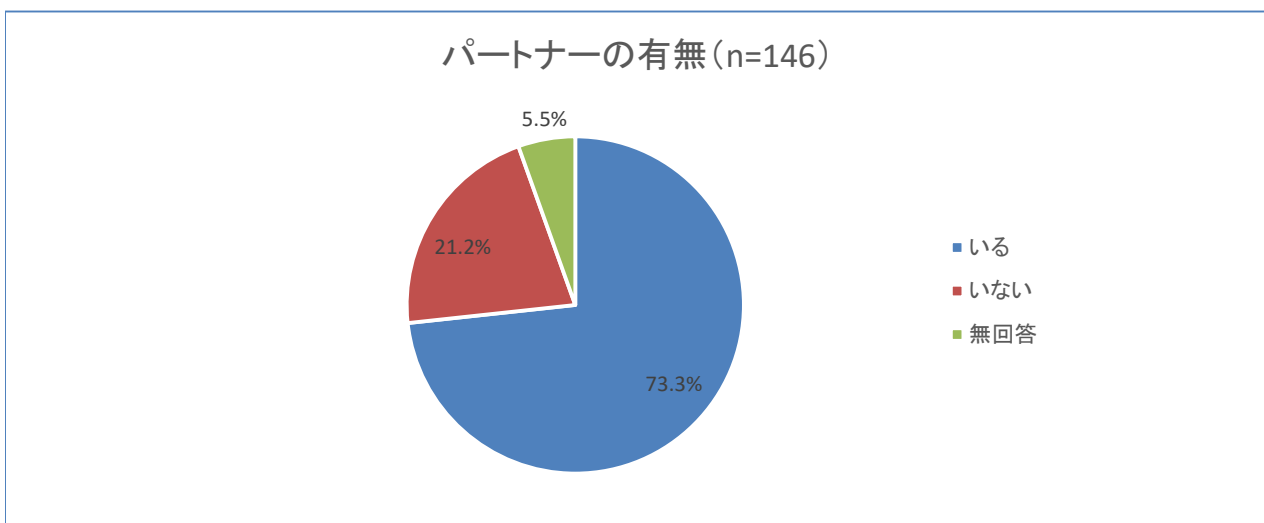
Q6. 現在のあなた、もしくはパートナーの治療状況について教えてください。

	割合	人数
治療前(未治療)	1%	1
治療中	27%	40
治療後(経過観察を含む)1年未満	12%	18
治療後(経過観察を含む)1～5年未満	21%	31
治療後(経過観察を含む)5年以上	37%	54
不明	1%	2



Q7. 現時点におけるパートナーの有無について教えてください。

	割合	人数
いる	73.3%	107
いない	21.2%	31
無回答	5.5%	8



Q8. がんやがん治療に伴う性に関することで困っていること・不安なことを誰かに相談することはできましたか？ ※複数回答可のため割合合計は100%を超えます。

	割合	回答数
パートナーに相談した	28.8%	42
友人・知人・患者経験者に相談した	17.1%	25
主治医に相談した	21.2%	31
主治医以外の医師・医療従事者に相談した	11.0%	16
相談できなかった	35.6%	52
その他*	13.7%	20
無回答	5.5%	8

\*具体的に：

相談できないわけではないがさほど困っていないのでしていない。

困っていることはなかった。

関心が及ばなかった。

相談していない。

相談の必要はなかった。

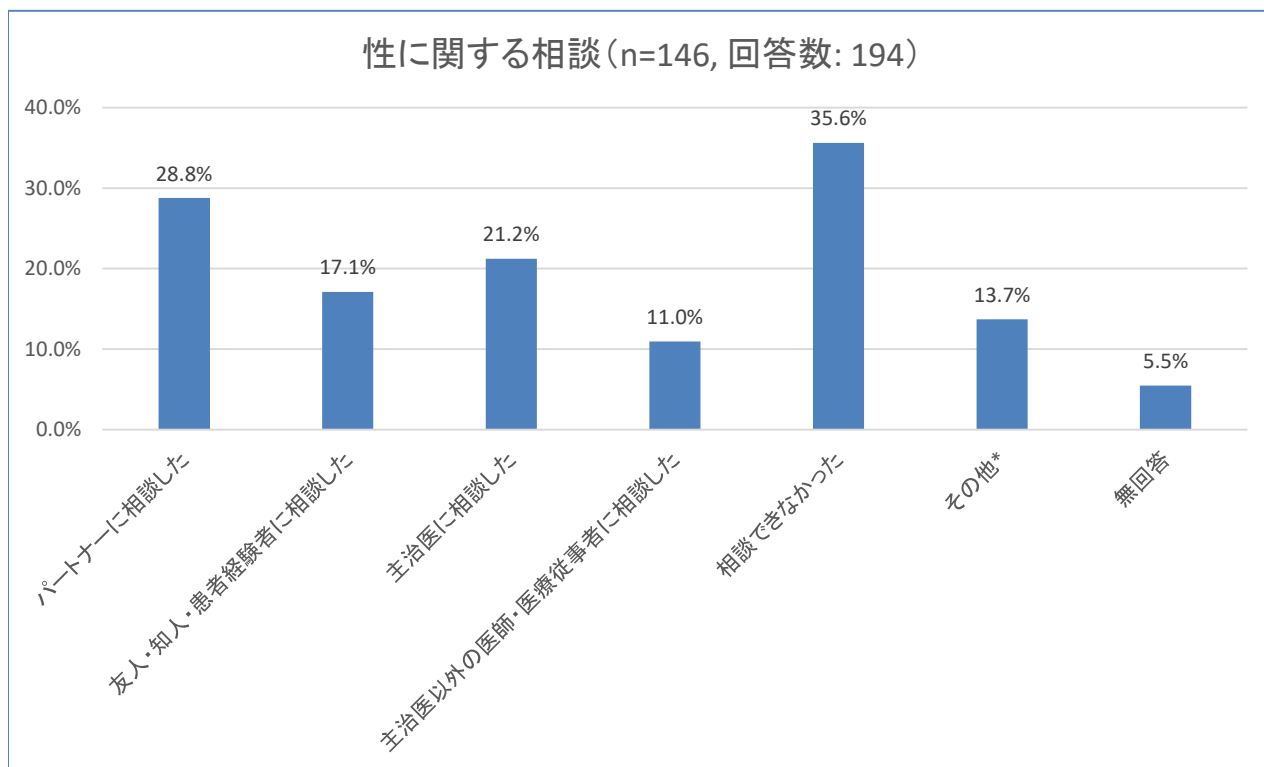
それどころではなく相談することはなかった。

患者会の仲間に話した。

地域連携看護師さんに相談

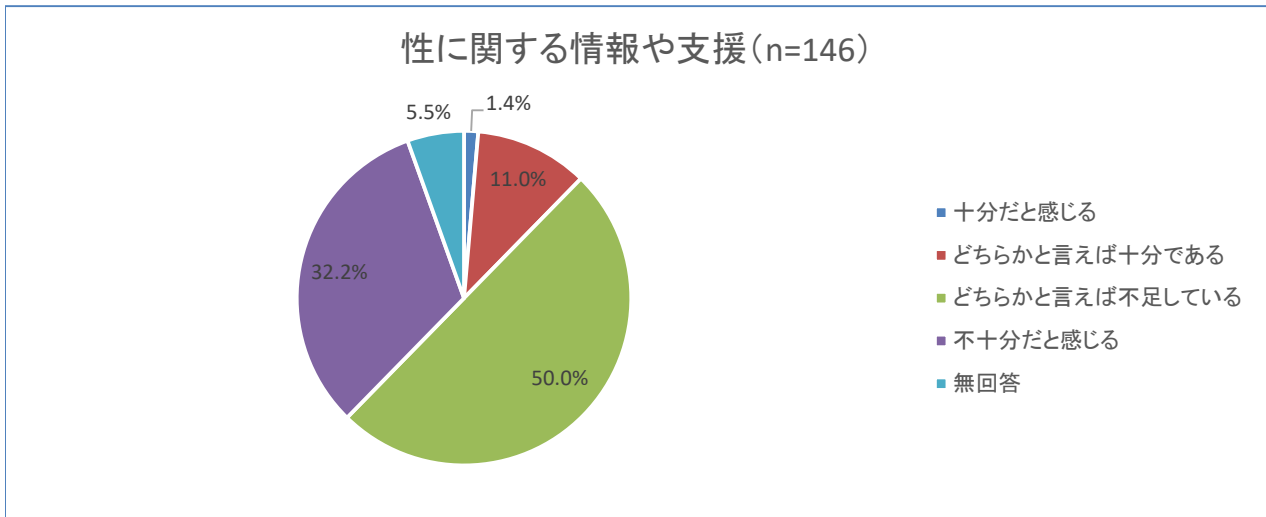
がん相談支援センターに相談

インターネットやリーフレットで情報収集



Q9. がん患者の性に関すること、性生活や性機能への問題について、情報や支援は十分にあると思いますか？

	割合	人数
十分だと感じる	1.4%	2
どちらかと言えば十分である	11.0%	16
どちらかと言えば不足している	50.0%	73
不十分だと感じる	32.2%	47
無回答	5.5%	8



Q10. がん患者の性生活や性功能を支援する情報は誰から得たいですか？ ※複数回答可のため割合合計は100%を超えます。

	割合	回答数
がんの主治医	25.3%	37
看護師	32.2%	47
泌尿器科や婦人科など性に関する専門医・専門家	43.8%	64
がん経験者	45.2%	66
家族・パートナー	10.3%	15
その他*	14.4%	21
無回答	5.5%	8

\*具体的に：

相談内容により相談相手が違ってくる。

CNJ

患者会、患者家族の会

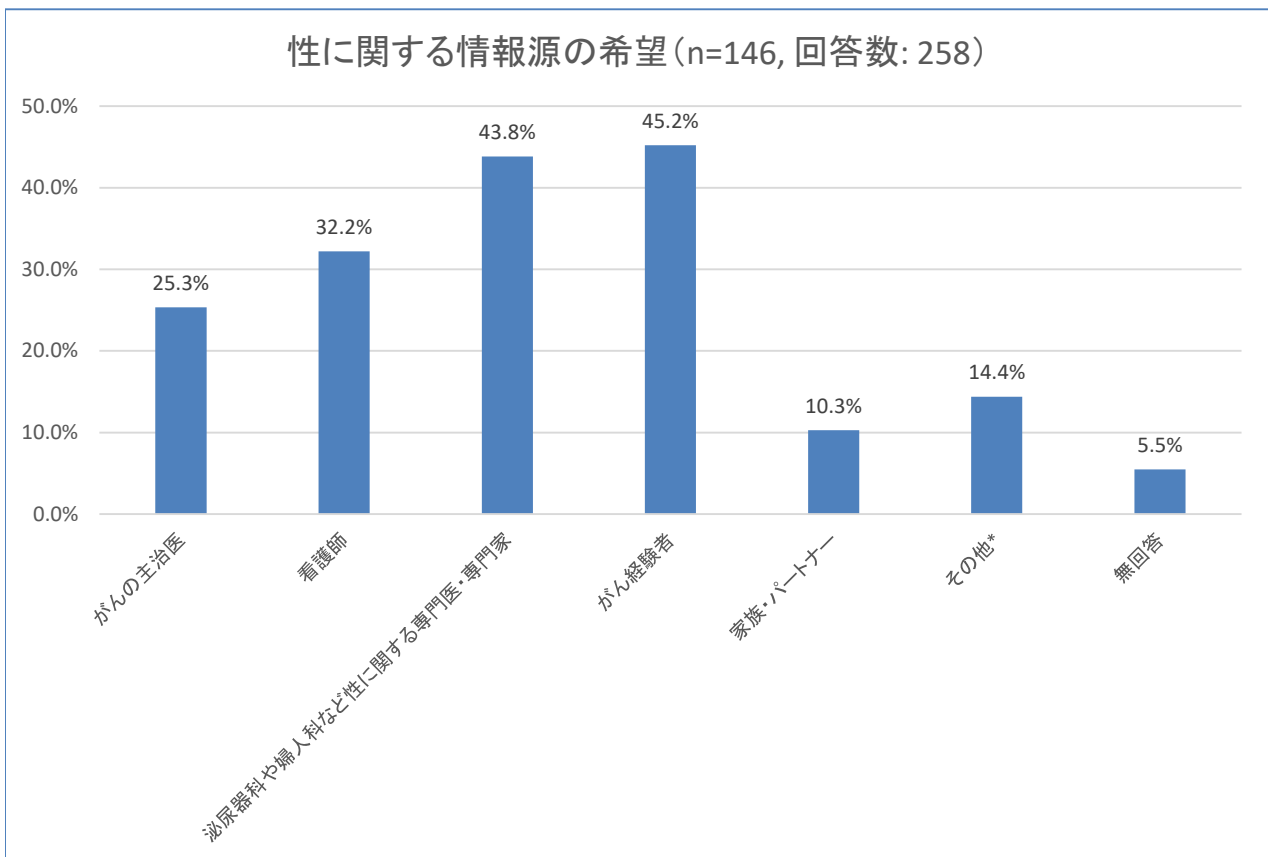
各専門学会、がん相談支援センター、NPOなどの専門家

第三者的な専用窓口

パンフレット（公的機関が発行するものなど）

インターネット（専門サイト、動画、国立がん研究センターなど）

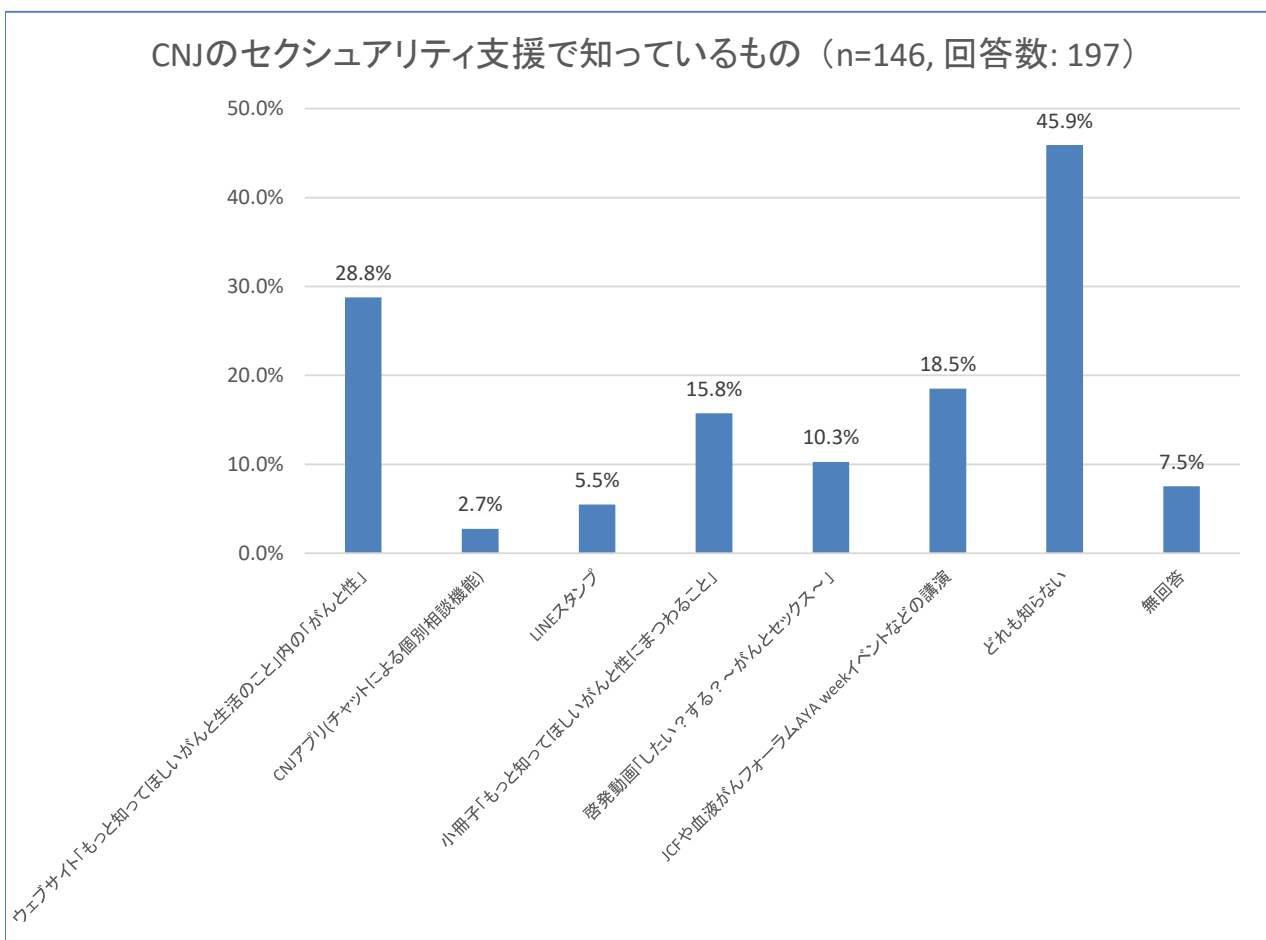
不要





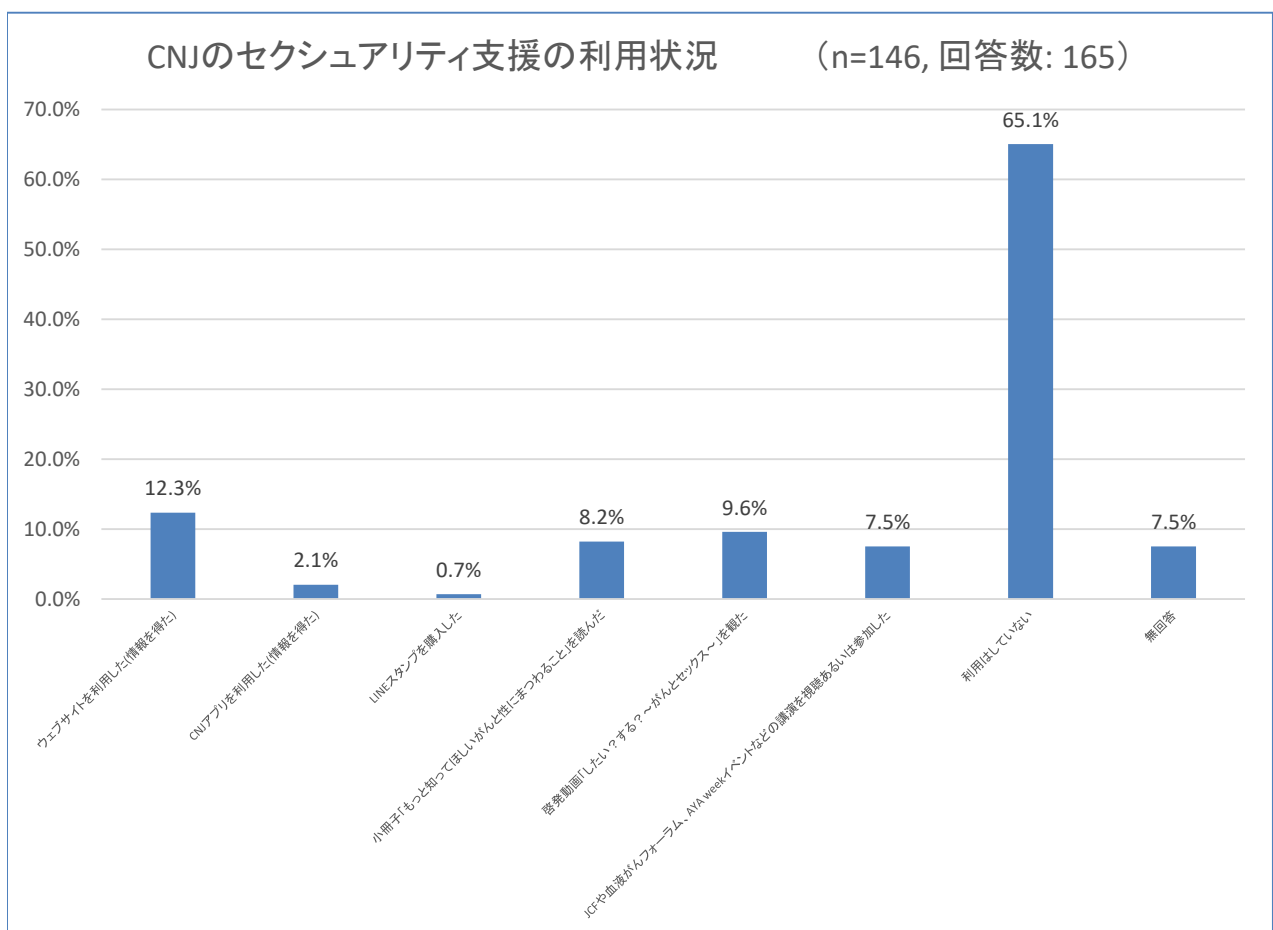
Q11. CNJのセクシュアリティ支援で知っているものを教えてください。 ※複数回答可のため割合合計は100%を超えます。

	割合	回答数
ウェブサイト「もっと知ってほしいがんと生活のこと」内の「がんと性」	28.8%	42
CNJアプリ(チャットによる個別相談機能)	2.7%	4
LINEスタンプ	5.5%	8
小冊子「もっと知ってほしいがんと性にまつわること」	15.8%	23
啓発動画「したい？する？～がんとセックス～」	10.3%	15
JCFや血液がんフォーラムAYA weekイベントなどの講演	18.5%	27
どれも知らない	45.9%	67
無回答	7.5%	11



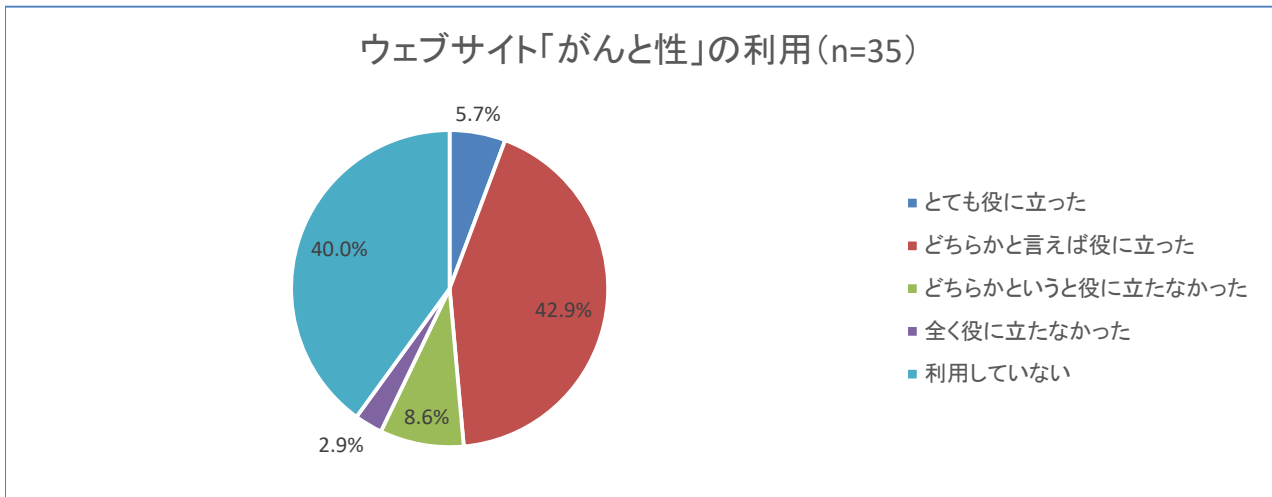
Q12. CNJのセクシュアリティ支援の利用状況を教えてください。 ※複数回答可のため割合合計は100%を超えます。

	割合	回答数
ウェブサイトを利用した(情報を得た)	12.3%	18
CNJアプリを利用した(情報を得た)	2.1%	3
LINEスタンプを購入した	0.7%	1
小冊子「もっと知ってほしいがんと性にまつわること」を読んだ	8.2%	12
啓発動画「したい？する？～がんとセックス～」を観た	9.6%	14
JCFや血液がんフォーラム、AYA weekイベントなどの講演を視聴あるいは参加した	7.5%	11
利用はしていない	65.1%	95
無回答	7.5%	11



Q13. ウェブサイト「がんと性」はいかがですか？ ※CNJのセクシュアリティ支援を利用した方を対象

	割合	人数
とても役に立った	5.7%	2
どちらかと言えば役に立った	42.9%	15
どちらかというと役に立たなかった	8.6%	3
全く役に立たなかった	2.9%	1
利用していない	40.0%	14

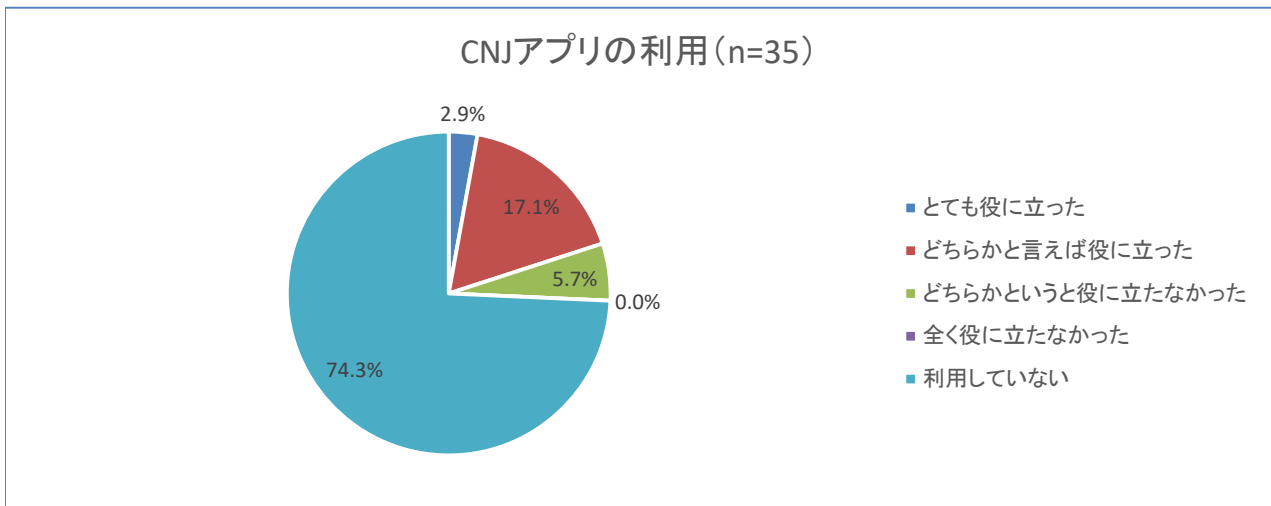


Q14. 問13で回答した理由があれば教えて下さい。

- ・今までの考え、思いとは違った情報が得られた。そして、それを実践する事ができた。
  - ・自分だけが悩んでいることでないことがわかり、医師に相談しやすくなった。
  - ・私の場合は、3人の子供がいて、その後は、性に関しては、ドライな関係だったため、がんに罹患してから、困ったことはあまり感じませんでした。ウェブサイトを見た時に、夜の生活はしてもしなくてもよいということを知り、心のつかえを取ってくれました。
- 主人も、私のがんになったけれど、生きていてくれればよいというスタンスだったので、すごく楽でした。
- ・少しでもオープンに相談できるようになってほしい。
  - ・信頼感があるサイトのため。
  - ・当日知りたかった情報だったため。
  - ・なかなか性について相談できる場所がないから。
  - ・これから治療とともに必要な大切な事だと感じるので。
  - ・個々によって状況が違うので、実際に自分がどう性生活を取り戻していくか、具体的な一歩がふみだせないままである。
  - ・家族、他者に迷惑にならないかを心配していた。
  - ・細かい期間やタイミングなどがわからなかった。
  - ・必要性がなかった。
  - ・かなり前に見たが記憶にない。
  - ・知らなかった。

Q15. CNJのアプリはいかがですか？ ※CNJのセクシュアリティ支援を利用した方を対象

	割合	人数
とても役に立った	2.9%	1
どちらかと言えば役に立った	17.1%	6
どちらかというと役に立たなかった	5.7%	2
全く役に立たなかった	0.0%	0
利用していない	74.3%	26

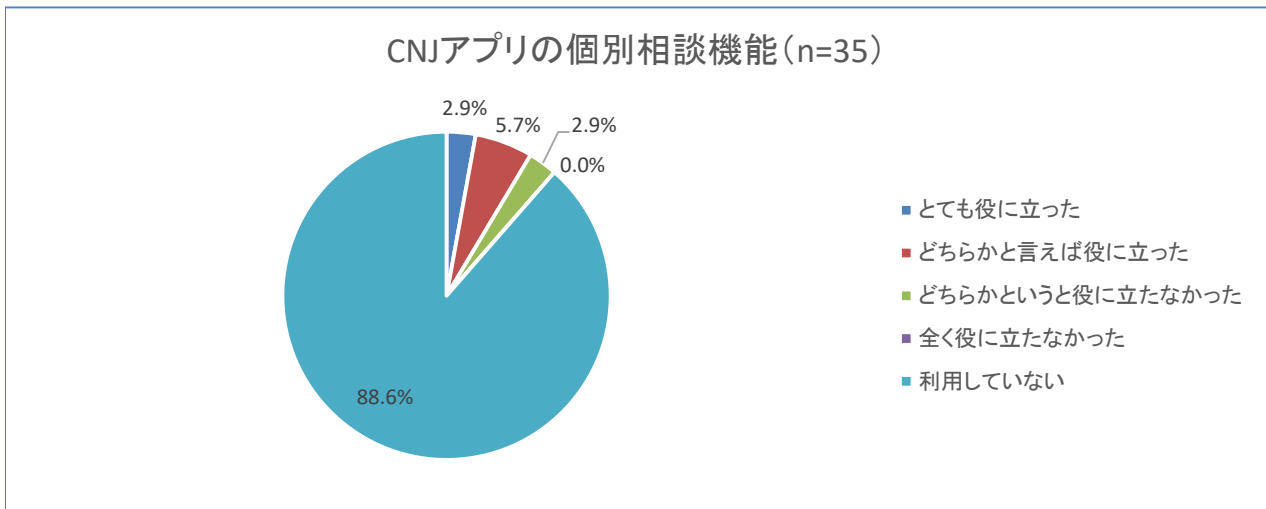


Q16. 問15で回答した理由があれば教えて下さい。

- ・実際に相談でき回答もあったから。
- ・アプリなら対面と違い情報が得やすい。
- ・知識の一部として納得した。
- ・広まりますように。たくさんの方に利用していただきたい。気軽に相談できる窓口となってくださいますように。
- ・利用しようと思わなかった。というより、あまり馴染めなかった。
- ・解決はしなかった。
- ・スマホ画面は小さすぎて見にくい。
- ・必要性がなかった。
- ・知らなかった。

Q17. CNJのチャット形式の個別相談機能（アプリ内）はいかがですか？ ※CNJのセクシュアリティ支援を利用した方を対象

	割合	人数
とても役に立った	2.9%	1
どちらかと言えば役に立った	5.7%	2
どちらかというと役に立たなかった	2.9%	1
全く役に立たなかった	0.0%	0
利用していない	88.6%	31

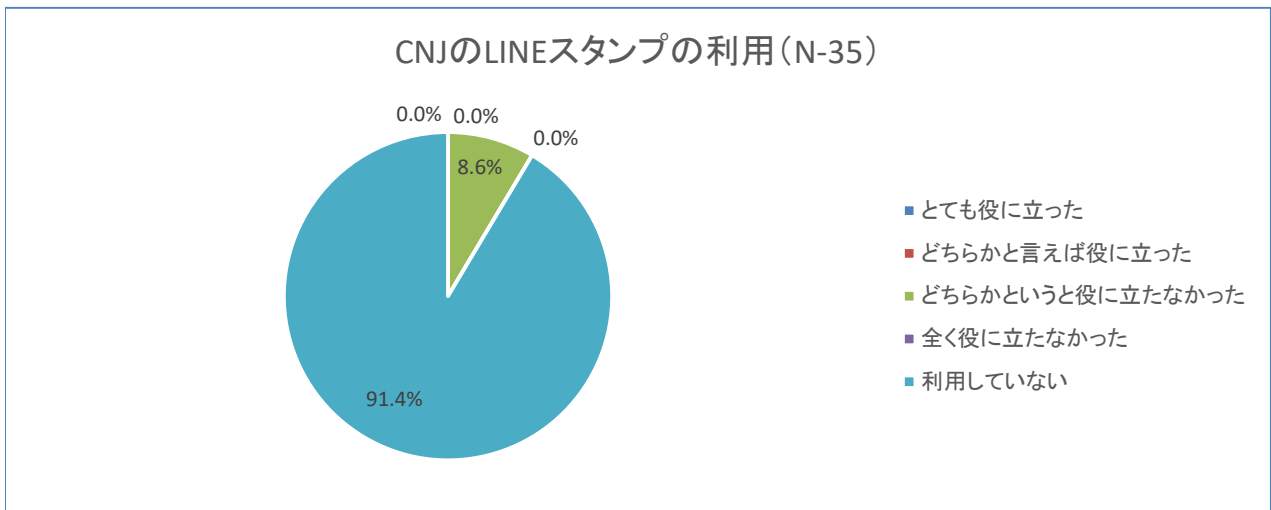


Q18. 問17で回答した理由があれば教えて下さい。

- ・チャット方式は不安な時、パートナーと話すその時に利用できるツールだと思います。一人で悩まない、悩ませない。
- ・少しでもオープンに相談できるようになってほしい。
- ・馴染めなかったので、前向きに利用したいと思っている。
- ・聞くべきことがないのか、聞いてもどうするかを、判断していない。
- ・必要性がなかった。
- ・知らなかった。

Q19. CNJのLINEスタンプはいかがですか？ ※CNJのセクシュアリティ支援を利用した方を対象

	割合	人数
とても役に立った	0.0%	0
どちらかと言えば役に立った	0.0%	0
どちらかというと役に立たなかった	8.6%	3
全く役に立たなかった	0.0%	0
利用していない	91.4%	32

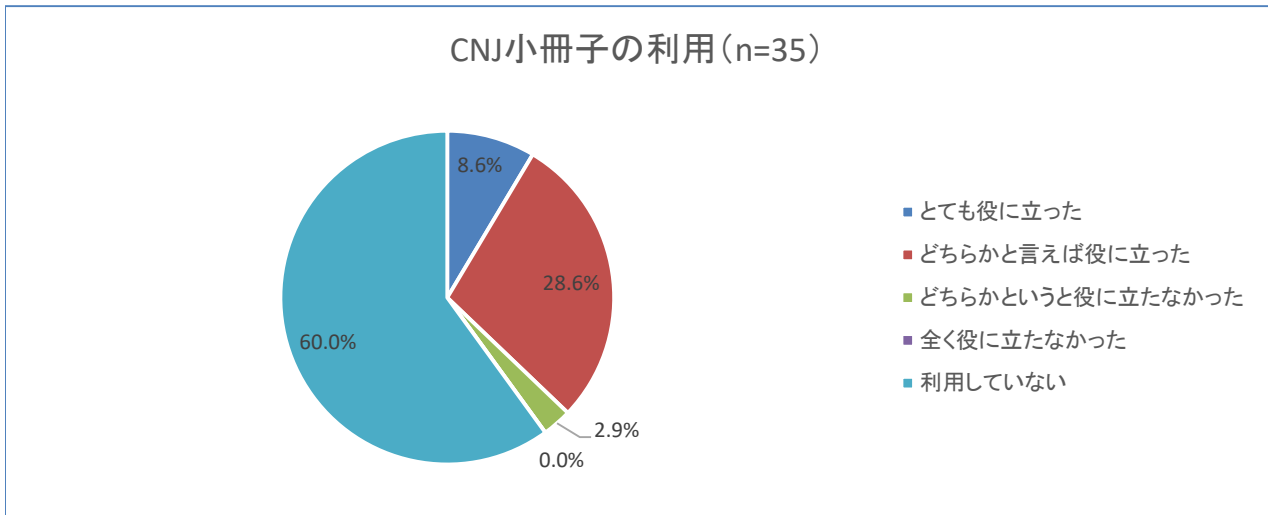


Q20. 問19で回答した理由があれば教えて下さい。

- ・スタンプではなかなか解決しづらい。
- ・あまり使用しておりません。
- ・存在を認識していなかったから。
- ・LINEを使っていない。
- ・必要性がなかった。
- ・知らなかった。

Q21. 小冊子「もっと知ってほしいがんと性まつわること」はいかがですか？ ※CNJのセクシュアリティ支援を利用した方を対象

	割合	人数
とても役に立った	8.6%	3
どちらかと言えば役に立った	28.6%	10
どちらかというと役に立たなかった	2.9%	1
全く役に立たなかった	0.0%	0
利用していない	60.0%	21

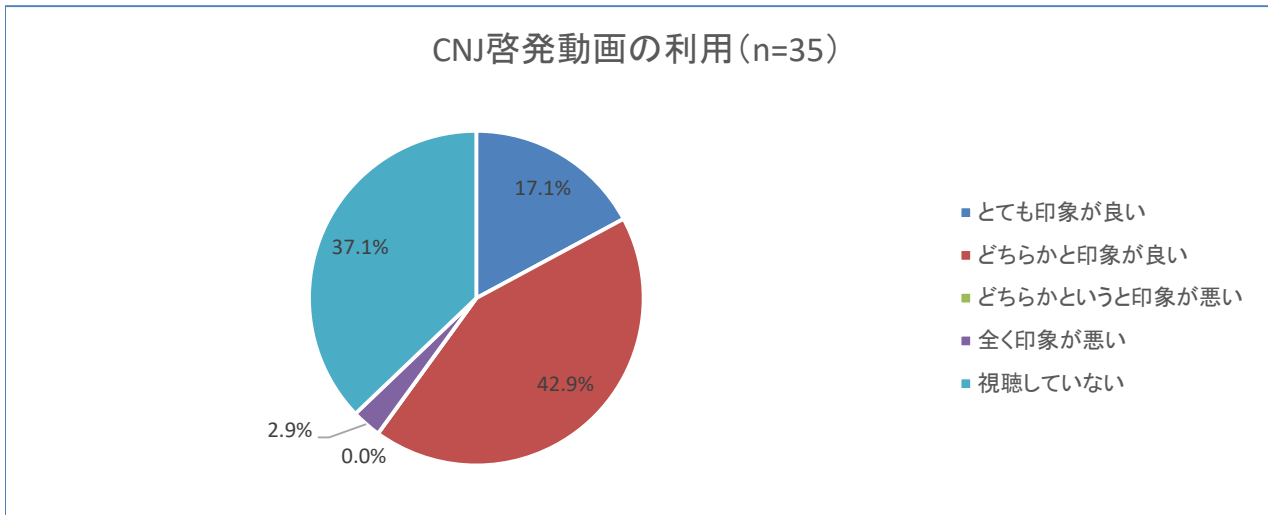


Q22. 問21で回答した理由があれば教えて下さい。

- ・経験者からのアドバイスが参考になった。
- ・電子ではなく冊子がほしいが、どこで手に入れられるかわからない。
- ・冊子なので気軽に読めるのは助かった。これが医療者や主治医にも共有されていたら助かる。
- ・知識を得られた。
- ・これを読んで、それぞれのカップルでそれぞれの方法があることを知り、ホッとしました。だから、悩みませんでした。
- ・当人は情報を得られてよいがパートナーに見てもらいにくい。
- ・冊子をプリントアウトして保存しておきづらい。
- ・書物の方が、いつでも確認できる。
- ・必要性がなかった。
- ・知らなかった。

Q23. 啓発動画「したい？する？～がんとセックス～」の印象はいかがですか？ ※CNJのセクシュアリティ支援を利用した方を対象

	割合	人数
とても印象が良い	17.1%	6
どちらかと印象が良い	42.9%	15
どちらかという印象が悪い	0.0%	0
全く印象が悪い	2.9%	1
視聴していない	37.1%	13



Q24. 問23で回答した理由があれば教えて下さい。

- ・どちらかといえば隠したい事であるが、それをごく普通に解説していることが新しく感じた。
- ・どちらの立場からも気になることを伝えて下さりお互いに前向きになれるよい動画だったと思う。
- ・若い人に届くと思う。
- ・すんなり見れました。
- ・若いカップルにとっては、どうしようかという問題です。でも、それぞれのカップルでいろいろ考えや、方法を模索することができ、なにより、この問題を明るく取り上げている所がよいです。
- ・さっぱりした画風や内容が、心地よく読める。実際に自分が活用できるかは別問題だなと感じる。
- ・例があるとわかりやすい。
- ・必要性がなかった。
- ・知らなかった。



Q25. CNJのセクシュアリティ支援を利用をしていない理由を教えてください。 ※CNJのセクシュアリティ支援を利用していない方を対象

- ・前立腺がん罹患した時点で、全摘、放射線治療（ホルモン治療）性機能低下、性欲低下は事前の情報で理解していた。
- ・夫と何でも話せるし、今のところ不明な情報がないから。
- ・本当に死を前提にした状況下で役に立つ内容かが疑問。
- ・年齢的に性生活よりも命が重要になってきている。
- ・薬の副作用なのか年齢的な問題なのか微妙だから。
- ・諦めているところがある。
- ・パートナーがいない、死去したため。
- ・個人的、固有な問題。
- ・なんとなく、自分で解決するものかと思っていた。
- ・情報に接する機会が少ない。
- ・一部の限られた周知だと考える。
- ・情報を得てはおきたかったが、特に支障がない状況であったため。
- ・治療方法、治療期間、治療料金以外はあまり意識がなかった。
- ・当時、関心が及ばなかった。
- ・あまり課題と考えてこなかったため。
- ・とても重要と感じていない。
- ・別に知りたくない
- ・わからないから。
- ・なんとなく。
- ・忘れていた。
- ・必要性がない。
- ・CNJの情報を確認していません。
- ・CNJを知らなかった。
- ・セクシュアリティ支援があること自体知らない。
- ・冊子を置いている場所を知らないため。
- ・知らなかった。

Q26. もっと欲しい情報や機能、改善点などご意見ご要望をお聞かせください。

・年齢的に若い世代の方が重要であり大切なことですが、年齢に関係なく大切であり重要だと思っています。しかし、偏見的な閲覧をしたのかもかもしれませんが、若い世代の方へ向けての情報が中心だったように思えます。年齢的に関係なく、たくさんの情報があればと感じます。

・今回このような情報を得るツールがあることを知りました。特に年齢が高い世代はデジタルのものが苦手的人也多いので、簡単な操作で情報がみれると嬉しいと思います。

・がん患者にかかわらず、そもそも性生活を重要視しないカップルもいるのではないのでしょうか。アンケートの最初に、「あなた自身かパートナーががんに罹患したことによって性生活に支障をきたすようになりましたか？」からはじめて、「はい」の人にアンケートを続けるのはいかがでしょうか。

・治療でも大変ですのにその後の生活においても配慮や知識、アドバイスが必要であることを本人、パートナー、医療従事者の方にももう少しオープンに相談できるようになったらありがたいです。

・必要としている方は発信できないことが多く、医療者や婦人科などで情報提供できるようになると受け取りやすく必要としている人に届きやすくなると思いました。

・相談窓口を、誰かに問うのもためらうセンシティブな問題だと思うので、検索をかけたときに、ずばり、ここなら安心して相談したり、アクセスしたりできるな、という情報にすんなり繋がれたらありがたい（難しそうですが。情報は生き物なので。）取り上げてくださることへ、まず感謝したいと思います。ありがとうございます。

・今回の案内までほとんどの情報提供されている方法を知りませんでした。広報いただけると助かります。また、個人的には対男性に向けてのほうが情報が少ない気がします。

女性より男性のほうがコミュニケーション能力も低いので、情報発信でフォローいただけると助かります。

・性に関することは日本ではまだまだタブー視される傾向があると思っています。もっと、医療者側から情報提供をしてもらえるとありがたいですね。

・たくさん発信してほしいです。

・まずは既存のコンテンツをしっかり確認してみます。

・勉強します。

・長引く副作用について知りたいです。

・個別相談できるところが欲しい。主人がどう思ってるのか夫婦でカウンセリングが受けたい。

・若い年代の人たちがフランクでオープンに共有できるような環境があればいい。

・性欲減退で夫を不満にさせている気がする。心のモヤモヤについての体験談、解決の工夫など知りたい。

・抗がん剤治療で免疫が弱り体力もない中できつとたくさん不安を抱えていると思うが、ていねいなFAQ集があるとよいと思う。

・より細やかな情報を知りたい。例えば、性交痛があるなら、いくつかの原因のハターンとその解決策や、パートナーとの性的コミュニケーションの取り方、進め方など。もう一歩ふみこんだ内容のコンテンツが知りたい。またテスターなど、いろんなグッズが実際に紹介されているもの、使用経験者の感想なども知りたい。がんとセックスはタブーではないんですよ、という啓発的なコンテンツは増えたが、実際にそれから踏み込んでいたり、解決策をいくつか具体的に細やかに提案しているものは、なかなかみない。医療者の意識の底上げも大切だが、待っていてはどんどん性生活が遠ざかっていき、取り戻せないところまで進んでしまう。ある程度の踏み込みとスピード感をもって、患者からどんどんアクションが起こせるような情報がほしい。

・若くして乳がんになった人に、ホルモン治療中の性生活についてきちんとした情報を流してあげればと思う。

- ・治療に入る以前に情報がほしい。
  - ・気軽に情報が得られたら活用も検討したい。
  - ・妊娠出産時と同じく、そもそも医療者からの情報がないのは問題ではないかと感じる。
- ただ、毎回主治医ですら代わることがあり得るが、誰かもわからない看護師から聞きたいとは思わない。
- ・支援の用意があることをもっと啓蒙してもいいと思う。がん診療連携拠点病院でリーフレットを見つけたことがない。
  - ・がん診療連携拠点病院での一般向け啓発パンフレットと一緒に並べて周知をはかる。
  - ・がんの情報も含め、とてもいいことをやってもそれ自体を広めないという意味がない。誰にも見られなければ意味がない。もっともっと広まってほしい。
  - ・支援を受けるために、どのような手続きが必要か広報してほしい。
  - ・何気なく発信する機会を多くしてほしい。
  - ・病院等でこのようなサービスがあることを知る機会があればいいと思う。
  - ・対象者だけでなく一般の方々への周知が大切だと考える。
  - ・就労に関する情報はほしい。
  - ・人それぞれではあるが子孫を残すための行為が死を前にした時に本当に必要な行為か？性ではなく、生が最優先ではないか？
  - ・ジャパンキャンサーフォーラムで休憩中に流れる動画は観ましたが、検索して出てくるものはいまいち。そもそも、がんじゃなくても性生活がどうなっていたかがわからないので。
  - ・専門家や経験者の意見を聞く機会も必要だが、性生活の議論はがんの有無に関わらず正しい情報があるとは言い難いので、正しい情報を得られる場所や機会が必要。
  - ・患者本人のメンタルの変化とパートナーの意識の変化の共有についての情報
  - ・相談資格などを持っているがん経験者との相談窓口
  - ・経験者の話
  - ・年齢、がん部位によるセックス有無等の情報
  - ・ストーマがあるので、それをカモフラージュするような下着などの情報
  - ・早期閉経などでの対応、経験
  - ・パートナーに対するセミナーなど
  - ・CNJにおける取り組みについての広報活動を工夫する必要があると思う。特に地域に向けた情報発信を強化してもらいたい。
  - ・こういう情報を発信していることの周知、支援についてのPR
  - ・支援よりは情報提供
  - ・若いがん患者への周知活動
  - ・新薬

Q27. 2021年1月8日～2月14日に実施したアンケート「がん経験者の性生活への影響の評価とセクシュアリティ支援ツールの開発」には回答されましたか？

	割合	人数
はい	5.5%	8
いいえ	54.8%	80
覚えていない	26.7%	39
無回答	13.0%	19

2021年アンケートへの回答(n=146)

